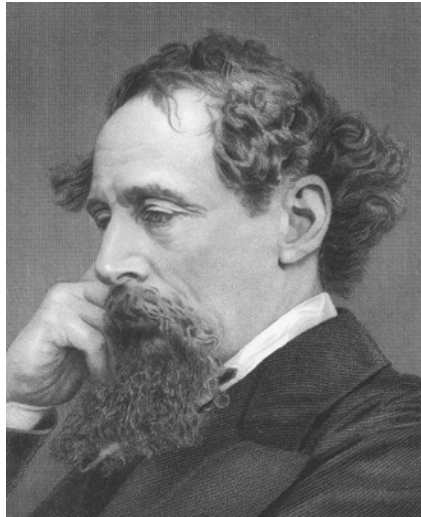


ディケンズ・フェロウシップ日本支部 2007年 秋季総会 プログラム

Annual General Meeting Japan Dickens Fellowship

日 時
2007年10月6日(土)



会 場
京都大学
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
文学部2F
第7講義室

13:20 ~ 13:50 理事会 (2F第3演習室)

13:50 ~ 14:30 総会

研究発表

司 会 松岡 光治 (名古屋大学教授)

研究発表1 (14:40 ~ 15:10)

矢次 綾 (宇部工業高等専門学校准教授)

「ディケンズとイギリスの歴史——『英国史物語』——」

研究発表2 (15:15 ~ 15:45)

廣野 由美子 (京都大学准教授)

「探偵小説の源流に関する考察——ポオとディケンズ——」

特別講演 (16:00 ~ 17:15)

司 会 松本 靖彦 (東京理科大学准教授)

ジャン・ゴードン (京都女子大学教授)

“The Soft Time of *Hard Times*”

『ディケンズ鑑賞大事典』出版記念パーティ (18:00 ~)

会場：セカンドハウス・ウィル (同志社大学今出川校地 寒梅館7F)

会費：7000円

※会員以外の方も自由にご来聴ください。

「ディケンズとイギリスの歴史——『英国史物語』——」

矢次 綾 (宇部工業高等専門学校准教授)

ディケンズは『英国史物語』(A Child's History of England, 1851-53)で何を表現しようとしたのか。それについて考察する際の参考資料として、キートリーの『英国史』、ヒュームやスモレットらによる『英国史』を挙げる。さらに、『英国史物語』の『ハウスホールド・ワーズ』掲載と同時期に分冊出版された『荒涼館』において、ディケンズがどんな歴史的事項に言及しているか、それらの事項がプロットの中でどんな役割を果たしているかも考慮に入れたい。

「探偵小説の源流に関する考察——ポオとディケンズ——」

廣野 由美子 (京都大学准教授)

ミステリーは文学の普遍的な要素のひとつであるが、ことにディケンズの小説には、秘密・殺人・失踪・替え玉・スパイ等々、ミステリーの要素が濃厚に含まれる。したがって、近代に「探偵」の誕生とともに生じた「探偵小説」という新しいジャンルについて考えるさい、ディケンズを切り離すことはできない。史上初の探偵小説はE・A・ポオの「モルグ街の殺人」とされているが、それより前に連載され始めた『バーナビー・ラッジ』の謎解きに、ポオがいたく触発されたという事実も見逃せない。『荒涼館』では、犯罪事件の解明がサブプロットとして含まれ、イギリス探偵小説の元祖とされるW・コリンズの『月長石』に先立ち探偵が登場する。発表では、探偵像の造形や謎解きの方法等をめぐり、主として『荒涼館』とポオの<デュパンもの>とを比較することによって、ディケンズのミステリーの特質を探り、探偵小説の系譜上における位置づけを明らかにしたい。

特別講演

司 会 松本 靖彦 (東京理科大学准教授)

“The Soft Time of *Hard Times*”

Professor Jan Baker Gordon
Kyoto Women's University

I would hope really to deconstruct Dickens' text, demonstrating that (in opposition to Hillis Miller and earlier, Leavis), the static “world” of Coketown is only apparently different from the equally static “play” of the circus. In fact, the two worlds are so structured that they closely mirror each other. I am really interested in the way in which Harthouse deconstructs the apparent opposition between the two worlds as a kind of “empty agent” in their symbolic equivalence. The drifter, part political agent, part decadent dandy, part seducer, of conflicted sexuality—an empty, voyeuristic channel-as-loiterer—is of course reflected in later Dickens' models, like Arthur Clennam and Jaggers. A kind of counter to the young man from the provinces that defined the bildungsroman in search for identity, occupation, or authenticity. These characters are all things to all people, totally devoid of ideology, ambition, or belief—even in themselves. This lack of definition gives them a kind of mobility, Bucket's mobility.

『ディケンズ鑑賞大事典』出版記念パーティのお知らせ

ディケンズ・フェロウシップ日本支部の総力を結集して編纂された『ディケンズ鑑賞大事典』が、今年5月に南雲堂より出版されました。日本支部ではこれを記念して、2007年度年次大会の懇親会を『ディケンズ鑑賞大事典』出版記念パーティとして下記の通り開催いたします。皆様ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時： 2007年10月6日（土）18:00～

場所： 同志社大学今出川校地室町キャンパス 寒梅館 7階

セカンドハウスウィル (Tel: 075-251-0200)

会費： 7,000円

*京都大学からは百万遍バス停より京都市バス203号系統にて烏丸今出川下車 徒歩3分
またはタクシーに分乗してお越しください。



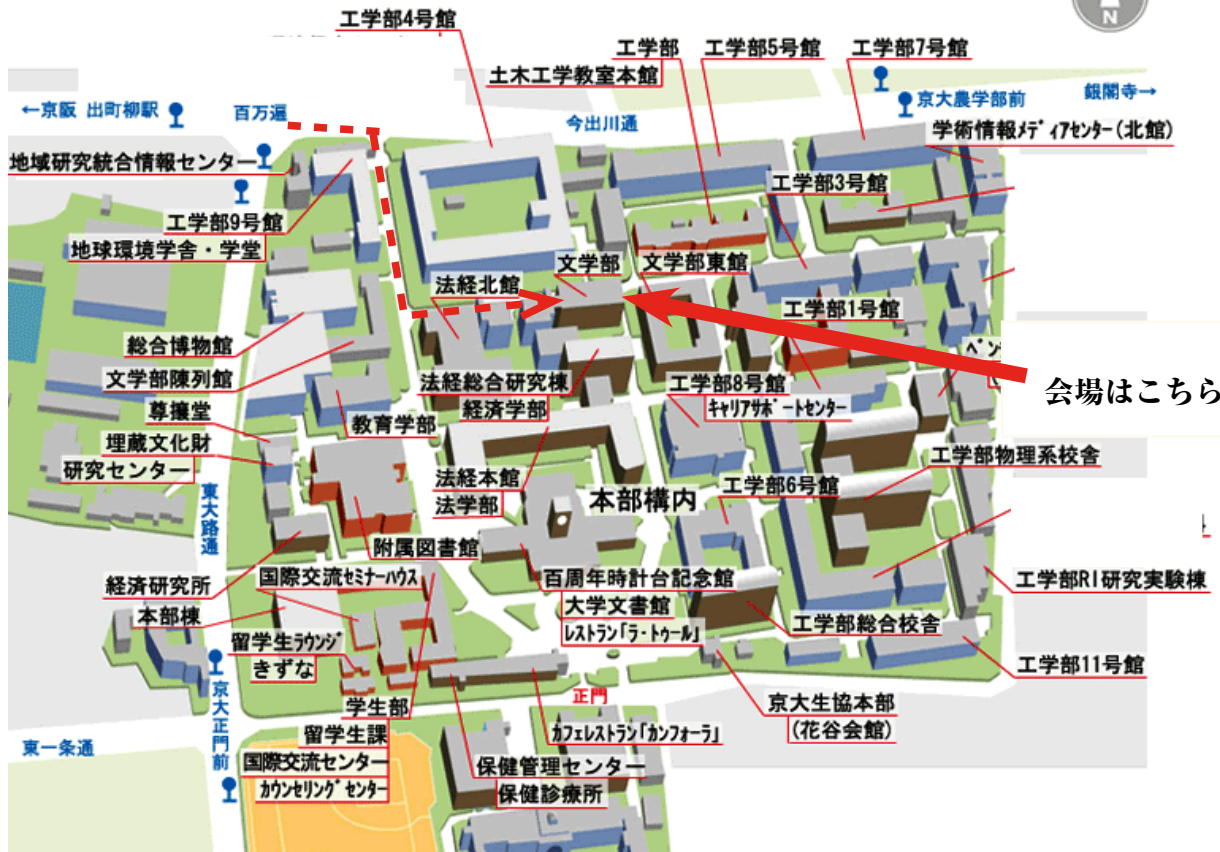
同志社大学今出川校地へのアクセス

京都大学から同志社大学への移動はタクシーに分乗して行きます。

直接パーティ会場へ行かれる方は左のアクセスマップをご参照ください。



京都大学吉田キャンパス案内図



百万遍の南東にある門（というか遊歩道）から本部構内に入り、工学部4号館と工学部9号館の間の道を南進し、法経北館の北を東に入る格好で文学部の建物にアプローチしてください。そこに案内の看板を出しておきます。

京都大学吉田キャンパスへのアクセス



J R京都駅から市バス（D2のりば）206系統「東山通 北大路バスターミナル」行に乗り、百万遍で下車。乗車時間は約35分。

※京都は観光シーズンです。連休でもありますので、宿泊のご予約はお早めに！！ 宿泊の斡旋は行いませんので、ご了承ください。

ディケンズ・フェロウシップ日本支部事務局：hara_ei@sal.tohoku.ac.jp